

未来へ、飛び立て若鳥たち。

桜の花のもと、新しい学校生活が始まりました。

府立で2校目の中高一貫教育校となる園部高等学校附属中学校が4月7日に開校し、新入生を迎えました。「大志・知・創造」をコンセプトに、中高一貫教育を進めます。

南陽高等学校、桃山高等学校、亀岡高等学校、西舞鶴高等学校では、それぞれ特色ある自然科学系の専門学科をスタートさせました。

大江高等学校では、府北部で初めてとなる「普通科総合選択制」や新しい時代に対応する「ビジネス科学科」で新たな教育を展開します。

南山城村では、今春、野殿童仙房小学校が南山城小学校に統合し、新しい学校の歴史を刻み始めました。

春、未来の大海への船出です。



南陽高等学校



桃山高等学校



亀岡高等学校



西舞鶴高等学校



大江高等学校



南山城小学校



園部高等学校附属中学校

みんなで「京都総文」を成功させよう

第30回全国高等学校総合文化祭「京都総文」平成18年8月2日(水)～6日(日)

第30回全国高等学校総合文化祭事業計画



新ポスターのお披露目

新春ライブin新風館 平成18年1月15日(日)

いよいよ「京都総文」が迫ってきました。本年8月2日(水)国立京都国際会館で総合開会式、同日夕刻に御池通りでパレード、期間中には、府内10市町で20部門の発表・展示・競技を行います。この記事を読んでいるあなた、京都総文成功にはあなたの力が必要です。



南陽高等学校マジック部も大活躍

部門	主会場	日程				
		第1日 8/2(水)	第2日 8/3(木)	第3日 8/4(金)	第4日 8/5(土)	第5日 8/6(日)
総合開会式	国立京都国際会館	○				
パレード	京都市内	○				
演劇	八幡市文化センター		○	○	○	
合唱	京都コンサートホール					○
吹奏楽	舞鶴市総合文化会館		○	○		
器楽・管弦楽	京都会館		○	○		
日本音楽	京都府長岡京記念文化会館				○	○
吟詠剣詩舞	京都府中丹文化会館					○
郷土芸能	文化パルク城陽				○	○
マージョ/バンド/トウリング	京都府立山城総合運動公園体育館					
美術・工芸	京都市勤業館	○	○	○	○	○
書道	京都市勤業館	○	○	○	○	○
写真	京都文化博物館	○	○	○	○	○
放送	国立京都国際会館					○
囲碁	パルスプラザ				○	○
将棋	パルスプラザ				○	○
弁論	けいはんなプラザ	○	○		○	○
小倉百人一首かるた	京都府体育館		○	○	○	○
新聞	京都市勤業館、日図デザイン博物館	○	○	○	○	○
文芸	ガレリアかめおか	○	○	○	○	○
(協賛)「京都」	京都府丹後文化会館 他	○	○	○	○	○
(協賛)直・豊・養護学校	京都テルサ			○	○	○

「京都総文」ライブ at 京都駅ビル

日時 平成18年4月29日(土・祝)午後1時開演

場所 京都駅ビル 室町小路広場

出演 鳥羽高等学校吹奏楽部・北嵯峨高等学校郷土研究部をはじめ西舞鶴高等学校の落語部も応援に駆けつけてくれます。工業高等学校製作の「きょうちゃんロボット」が踊りを初披露してくれまます。

お知らせ

平成18年度全国高等学校総合体育大会



06総体THE近畿 京都府開催競技

高校生最大のスポーツの祭典、 インターハイが京都にやってくる

大阪府を中心に近畿ブロックが会場となり、京都府では、剣道とフェンシングの2競技が開催されます。

躍動する選手たちを是非、競技会場で応援してください!

選手の真剣勝負にあなたはきっと心を奪われる!!

【平成17年度インターハイより】



京都府実行委員会HP

<http://www.kyoto-be.ne.jp/06soutai-kyoto/>

京都府開催競技ポスター



剣道

8/2(水)～4(金)
京都府立体育館

フェンシング

8/3(木)～7(月)
大山崎町体育館



一人の人間として

まとい 纏～人間愛を伝える仲間を目指して～ 亀岡市立稗田野小学校

一人の人間として大切にされ、愛し愛されていると相互に感じ合う中で、自分自身を高めていこうとすることは、人権を考える上で大事なことです。

「京の子ども夢・未来校」の指定を受けている亀岡市立稗田野小学校では、自分の得意なことや努力していることを紹介する「アピール集会」や、他学年へ感謝の気持ちや励ましの言葉を伝える「ありがとうBOX」などいろいろな学校の活動を通して人権教育に取り組んでいます。

また、人の思いがわかり自分の思いを正しく伝えることで、コミュニケーション能力を身に付けることも目指しています。

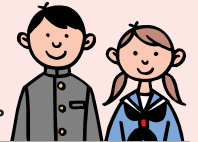
人とかかわりの中で、一人の人間として生きていけるようになりたいものです。



アピール集会
～自分のよさやがんばりを伝える～
「フラフープがじゃょうずになったよ。」

応援します、あなたの学ぶ志 高校生等修学支援事業について

京都府では、経済的理由により修学を断念する高校生等がでないよう高校生等修学支援事業を実施しています。平成18年度の制度概要及び申請期間等は次のとおりです。



自らの将来を切りひらくとともに、社会の発展のために活躍できるよう、この制度を積極的に活用してください。

制度	内容	対象者	<所得のめやす>	申請締切日(学校へ提出)
高等学校等修学金貸与制度	○京都府から貸与 ○貸与月額 国公立 18,000円以内 私立 30,000円以内	平成14年度以降の入学生 *盲・聾・養護学校及び専修学校高等課程在学者は、平成17年度以降の入学生が対象となります		平成18年5月1日(月) 中学校3年在学中に貸与予定決定を受けている方。ただし、中学校へ既に提出した方を除く
高等学校等修学支度金貸与制度(修学支度金)	○京都府から貸与 ○貸与額(定額) 国公立 50,000円 私立 250,000円	高等学校等修学金の貸与を受ける平成18年度新入生又はその保護者 *年収に応じていずれかを適用	4人世帯で年収約480万円以下	平成18年5月15日(月) 貸与予定決定を受けていない平成18年度新入生で、平成18年4月分からの貸与を希望する方
修学支度金特別融資利子補給制度(修学支度金)	○金融機関の融資利用者への利子補給 ○融資額(定額) 国公立 50,000円 私立 250,000円			随時(年度途中から貸与を希望する方) *申請日の翌月分から貸与、ただし修学支度金を除く
修学支援特別融資利子補給制度	○金融機関の融資利用者への利子補給 ○融資限度額 国公立 648,000円 私立 1,080,000円 ○募集人員 入学年度に応じて定員あり	平成17年度以降の入学生の保護者 *生徒が高等専門学校在学の場合は対象となりません	高等学校等修学金の基準を超えかつ主たる生計維持者の年収が4人世帯で約800万円以下	平成18年5月15日(月)

詳しくは高校教育課(TEL075-414-8586)までお問い合わせいただくか、在学的高等学校で配布のチラシ又は下記のホームページをご覧ください。
京都府教育委員会高校教育課ホームページ <http://www.kyoto-be.ne.jp/koukyou/index.html>

文化財 平成17年度 京都府指定無形文化財

京都府教育委員会では、伝統工芸技術を後世に守り伝えるべき無形文化財として指定し、その技術を高度に体得され、優れた活動をされている方を保持者として認定しています。

つむぎおり むらかみ りょうこ
名称 **紬織(指定)** 保持者 **村上 良子氏**(京都市左京区在住)

紬織は、肩綱から紡いだ糸を使い、農閑期に農家で手機織された素朴な絹織物であり、明治以降、染織作家等の工夫で、表現力を持つ芸術性の高い作品が作られています。村上良子さんは、重要無形文化財(紬織)保持者の志村ふくみ氏に師事され、第36回日本伝統工芸展(平成元年)で東京都知事賞、第49回同展(平成14年)で高松宮記念賞を受賞されました。自ら草木染めた糸を使った大胆な配色の紬織で高い評価を得ておられます。



ゆうぜん はたのぼる
名称 **友禅(指定)** 保持者 **羽田 登氏**(京都市上京区在住)



友禅染は、「手描き友禅」に代表される、多色染の絵画的表現ができる染色法です。羽田登さんは、重要無形文化財(友禅)保持者の父、登喜男氏に師事され、日本画で日展初入選(昭和38年)後、第37回日本伝統工芸展(平成2年)では日本工芸会総裁賞を受賞されました。デッサン力を抽象表現に活かし、色彩表現の細やかな変化を加えた、現代的で洗練された友禅染で高い評価を得ておられます。

トータルアドバイスセンター

～気軽にご相談ください～
子どもの成長や発達、不登校、いじめ、子育て、しつけなどについて臨床心理士や精神科医等が相談受けます。

	府総合教育センター内(伏見区)	府総合教育センター北部研修所内(鞍馬市)
	ふれあいすこやかテレフォン	
電話教育相談	毎日【祝日を除く】 8:30～20:30 TEL 075-612-3268 TEL 075-612-3301	月～金【祝日を除く】 10:00～19:00 TEL 0773-43-0390
来所教育相談	月～金【祝日を除く】10:00～17:00 (前もって上記の電話で予約してください)	

子どもたちにとって、4月は、進学、進級によって環境が大きく変わる時です。環境が変わると、子どもは心理的に不安定となることがあります。子ども(京都府内在住)の成長や、子育て、しつけなどについて、電話による相談を受け付けています。

府民みんなで、
たくさん本を
読みましょう



平成18年度 教育委員会当初予算の概要

府民の皆さんの教育に対する大きな関心と期待に応えるため「京の子ども、夢・未来」プラン21」などに基づく教育改革の推進及び子どもの安心・安全を守るための経費を重点的に計上しています。子どもたちが確かな学力と豊かな心を身に付け、たくましく生き抜くことができる資質や能力を養うための施策を中心に、平成18年度教育委員会の予算総額は、1,977億1,332万円となっており、京都府の予算総額の約4分の1を占めています。

A 学力の充実・向上と個性や能力の伸長を図る教育の推進

京の子ども学力充実総合推進事業費【3,710万円】

まなび教育推進プランに基づき、確かな学力の基盤となる「国語力の育成」を推進するため、京の国語力向上プロジェクトをスタートします。

◆京の国語力向上プロジェクト(新規)【100万円】
プロジェクトチームによる課題分析、京都府版指導資料・カリキュラムなどの作成や開発を進めます。

◆教科国語の指導力アップ研修(新規)【120万円】
教科「国語」の指導充実のため、新たに指導者養成研修を実施します。

◆学力充実・向上システム(新規)【1,000万円】
学校が企画・立案する学力向上プログラムの公募制を導入し、採択校では目標・成果の公表による学校評価、授業公開などを実施します。

◆小学校基礎学力診断テスト・中学校学力診断テスト【2,490万円】
府内小・中学校の子どもたちの学力を客観的にきめ細かく把握することで、個々に対応した指導や授業改善に役立てます。

小・中学校社会人講師配置事業費【1,000万円】

「京の子どもへ夢大使派遣事業費」

優れた知識や経験を持つ多様な分野の専門家や著名人を小・中学校に派遣し、子どもたちの興味・関心や学習意欲を高める授業を行います。今年度は、国語力の充実のため「言葉の達人」をメニューに加え充実を図ります。



子どものための京都式少人数教育推進費【77億3,141万円】

◆小学校低学年指導充実費【7億6,896万円】
小学校1・2年生で、2人の先生による指導を行うための教員を配置します。配置は、基本的に30人を超える学級ですが、学校の状況に応じて弾力的に行います。

◆京の子ども・少人数教育推進費【68億6,670万円】
小・中学校で一人一人の子どもに応じた指導を行うため、少人数授業・ティームティーチング・少人数学級を市町村教育委員会の選択で実施します。

◆全中学1年生英数少人数教育実施費【9,575万円】
中学校1年生の英語・数学の基礎学力の定着を図るため、30人を超える学級において、少人数教育が実施できるよう教員を配置します。



特別支援教育充実事業費(新規)【2億2,000万円】

LD(学習障害)、ADHD(注意欠陥・多動性障害)、高機能自閉症などの発達障害により、特別な支援を必要とする子どもたちのために、個別・少人数指導やティームティーチング指導など一人一人のニーズに応じた指導が行えるよう、府内の小・中学校を対象に100人の教員を配置します。

府立高校「教育改革チャレンジプラン」支援事業費【9,079万円】

生徒一人一人の「確かな学力」の向上と希望進路の実現に向けて、府立高校が主体的に企画し教育改革を推進する取組を支援します。

◆「確かな学力」向上プラン 学力向上フロンティア校支援(新規)【1,200万円】
各高校が主体的に企画する学力充実・向上プログラムの企画コンペを実施し、採択校では目標・成果の公表による学校評価、授業公開などを実施します。

◆「豊かな未来」実現プラン【6,629万円】
学習合宿・進路補習や資格取得促進など希望進路の実現に向けた取組を支援します。

教育情報ポータルサイト構築費【740万円】

デジタル教材の紹介や授業に活用できる情報の提供など、教育情報の総合窓口となるポータルサイトを構築し、学習指導等の充実を図ります。

e-スクール推進事業費【1億3,700万円】

◆IT活用校内環境整備(新規)【7,700万円】
府立学校の普通教室に校内LAN及び教材提示用スクリーンを3年計画で整備し、情報教育の充実を図ります。

B 豊かな人間性の育成と健康や体力の向上を図る教育の充実

心のサポート推進事業費【2億3,681万円】

いじめ、不登校や青少年犯罪が大きな社会問題となる中、児童生徒や保護者の相談などに対応する総合的なサポート体制の充実を図ります。

◆スクールカウンセラーの配置(拡充)【1億6,910万円】
臨床心理士をスクールカウンセラーとして全中学校へ配置するとともに、高校への配置も拡充し、生徒、教職員、保護者に対する助言・援助体制を充実します。

◆心の居場所サポーターの配置(新規)【2,400万円】
不登校の未然防止・早期解決を図るため、保健室や相談室などに登校する子どもたちの相談や学習支援を行うため「心の居場所サポーター」を配置します。

豊かな心を育てる教育推進事業費【5,490万円】

◆京の子ども夢・未来体験活動推進事業費(新規)【4,350万円】
府内すべての小・中学校で「仕事探究・体験活動、職場体験活動」を実施します。また、体験活動受入れ企業等を集積した「バンク」を設置し、学校の取組を支援します。

◆豊かな心を育てる読書活動推進事業費(新規)【350万円】
子どもの読書離れや活字離れが心配される中、「京都府子ども読書活動推進計画」を踏まえ、子どもたちが自主的に読書活動を行う環境を充実させ、豊かな心の育成を図ります。



「心の教科書」作成費【4,200万円】

京都府「心の教育」の創造を目指し、「心の教科書」(仮称)を作成し、子どもたちの豊かな人間性を育成します。

◆全国高等学校総合文化祭開催費【2億4,900万円】
今夏、第30回全国高等学校総合文化祭を京都府で開催することにより、芸術文化活動への参加意欲を喚起し、創造的な人間形成を図ります。

◆全国高等学校総合体育大会開催費【7,000万円】
近畿ブロックとして開催する「06総体THE近畿」で、剣道・フェンシングの2競技を京都府で開催します。

C 府民の信頼を高める学校づくり

地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業費【2,200万円】
府内すべての小学校区で、家庭や地域の関係団体などと連携し、学校安全ボランティアを活用した効果的な安全体制の整備を進めます。

D 家庭・地域社会の教育力の向上

府立学校施設整備費【29億5,800万円】

地震災害に対する生徒の安心・安全の確保と防災機能を充実させるため、府立学校耐震強化対策費を倍増するほか、計画的な府立学校の施設整備を進めます。

学校評価システム検討費【800万円】

学校の自己評価や市町村が行う外部評価の実践研究を通じて、学校評価システムの構築を目指します。

京のわくわく探検事業費【1,000万円】

障害のある子どもと一緒に、地域の伝統文化に触れる京都らしい体験活動や異世代間交流を図るなど、学校や地域の施設を活用した体験活動を実施します。

府立高校サタデー広場活動事業費【1,100万円】

府立高校の施設を活用し、土曜日における子どもたちの体験活動や学習活動などの充実を図ります。

地域別教育活動推進費【300万円】

各教育局が市町村や関係団体と連携しながら企画・実践する取組を支援し、地域の教育的課題を地域で解決する機能を強化します。

インデックス

「京の子ども、夢・未来」プラン21 ー京都府の教育改革ー

京都府教育委員会は、21世紀を担う子どもたちが確かな学力、豊かな人間性、健康や体力などの「生きる力」を身に付け、夢や希望を持って世界にはばたく人間として育つことを目指し、計画的・総合的に教育改革を推進します。

- 4つの柱
- A 学力の充実・向上と個性や能力の伸長を図る教育の推進
 - B 豊かな人間性の育成と健康や体力の向上を図る教育の充実
 - C 府民の信頼を高める学校づくり
 - D 家庭・地域社会の教育力の向上

※「京の子ども、夢・未来」プラン21の詳細は府教育委員会のホームページでご覧いただけます。

きょういく きた みなみ

学校・家庭・地域ぐるみで子どもを守る 八幡市立美濃山小学校

本校では、平成14年度の開校当初から、「学校、家庭、地域社会が連携した学校づくり」を進めてきました。こうした中、平成17年度には、「地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業」(文部科学省)、「地域安全安心ステーションモデル事業実践地域」(警察庁)の指定を受け、児童の安全確保のために、学校、家庭、地域社会が一体となって危険な場所での登下校指導や様々な防犯活動を行ってきました。

学校では危機管理マニュアルの確認、防犯研修、CPI(非暴力的危機介入法)研修等を行い、児童は不審者侵入時の防犯訓練、不審者や不審車輿と遭遇した場合の危険回避する学習などを行っています。一方、PTAでは学校と共に危険箇所の調査を行い「校区防犯マップ」を作成し、地域に防犯を呼びかけています。

さらに、美濃山地区自治連合会では、防犯パトロール隊を結成し、青色回転灯付きのパトロールカーを巡回させ、学校や家庭と共に、児童の登下校時の見守り活動に取り組んでいます。



防犯パトロールカー さあ、出発!!

理科の大好きな生徒を育てる 福知山市立桃映中学校

本校は、府教育委員会指定の「京の子ども夢・未来校」として、知的感動が体験できる授業を通して、理科の大好きな生徒を育成する取組を進めています。

授業においては、「いろいろな自然現象を目の当たりにした時の目の輝き」「不思議な現象に触れたとき思わず出てくる「あっ!」という歓声」そんな生徒の驚きや疑問を大切にしています。

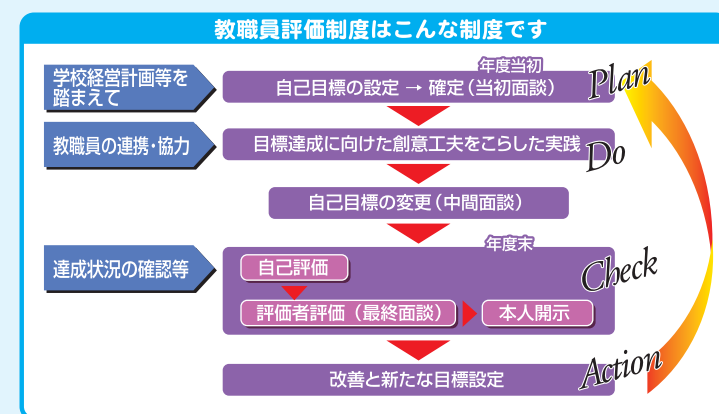
また、最先端の科学技術など本物に触れさせる機会を増やすために、「夢・未来ステージ」(全校対象)実技講演会や「夢・未来科学教室」(希望者)理科実技講座を実施しています。

これらの取組を通し理科に興味を持ち、その興味を意欲につなげ、結果として理科好きの子の育成を図っていきたく考えています。平成18年11月8日には研究発表会を予定していますが、本校ホームページでも取組の経過を公開しています。是非、ご覧ください。



<http://www1.kyoto-be.ne.jp/touei-jhs/>

教職員評価制度の本格実施



教職員評価制度は、教職員一人一人が目標を持ち、その達成状況等を評価することにより、資質能力を向上させ、より良い学校教育活動を実現しようとするためのものです。

ポイントはここ 平成18年度「指導の重点」

京都府教育委員会では、各学校(園)や社会教育関係機関の教育活動の指針とするため、本年度の取組の努力点を示した「指導の重点」を策定しました。

すべての教科の基盤となる「国語力の向上」に努めることや、自ら学ぶ力を前提とした「学習習慣の確立」を図ること、また、学校・家庭・地域社会が一層連携し、子どもの安心・安全な教育環境の確保に努めることなどを強調しています。

学校教育指導の重点

- 「京都式少人数教育」の趣旨を生かした授業改善による学力の充実・向上
- すべての教科の基盤となる国語力の育成と学習習慣の確立
- 豊かな人間性をはぐくむ「心の教育」の充実
- 不登校の未然防止と解決を目指す総合的な相談体制の充実
- 「新京都府人権教育・啓発推進計画」を踏まえた人権教育の推進
- 障害のある児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた適切な教育的支援を行う特別支援教育の推進
- 学校評価などを活用した学校改革の推進と教職員評価制度などを活用した教職員の資質向上
- 家庭・地域社会との連携による安心・安全な教育環境づくり など

社会教育指導の重点

- ボランティア活動や現代的課題への対応等、生涯にわたる自発的な学習活動の推進
- さまざまな人権問題についての正しい理解と実践につながる自発的な学習活動の推進
- 子どもに読書習慣を身に付け、生命を大切にすることをはぐくむ家庭教育の推進
- 安心・安全な体験活動の場と、地域社会全体で子どもを育てる環境づくり
- 活力ある社会づくりに向けた生涯スポーツ及び芸術文化活動の充実 など

※詳細については、府教育委員会のホームページでご覧いただけます。